

講義名	スポーツキャリア論			授業形態	
担当教員	与那覇 秀勲	開講期・曜日・時間	後期 木曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

#### 主題と概要

スポーツや健康について学んだ知識や、これまでのスポーツ経験が、どのように実際の社会や仕事に活かされるのかを学び、自身に合ったスポーツキャリアを考えることを目的とする。また、自身が望むスポーツキャリアを実現するために必要な知識や能力についての理解を深める。

#### 到達目標

本授業における到達目標は、以下のとおりである。

- 1) スポーツや健康に関する知識や経験が、社会においてどのように活かされるかを理解することができる。
- 2) スポーツキャリアを形成するために必要な知識や能力について理解することができる。
- 3) 自己分析を行い、自身に合ったスポーツキャリアを考えることができるようになる。

#### 提出課題

各回の授業においてミニレポートをレスポンスで提出する。また、プレゼンテーションと期末レポートを実施する。

#### 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

各回の授業の始めに、前回授業で提出されたレスポンスの内容に関して講評を行う。

#### 評価の基準

プレゼン（30%）、期末レポート（30%）、ミニレポート・受講態度（40%）

#### 履修にあたっての注意・助言他

遅刻者は、開始後15分以内とし、静かに着席すること。講義中の質問は加点する。授業中の私語は厳禁で、使用を指示しない限り、スマホ使用を禁止とする。

#### 教科書

.使用しない。

#### 参考図書

.なし。

その他
プリント資料は必要に応じて配布する。

#### 授業計画

1. オリエンテーション
2. キャリア形成について
3. スポーツとライフスキル
4. スポーツ選手のキャリア（競技別）
5. スポーツ選手のキャリア（セカンドキャリア、デュアルキャリア）
6. スポーツに関わる仕事（民間企業）
7. スポーツに関わる仕事（行政、教育）
8. スポーツに関わる仕事（スポーツ関係団体、非営利組織）
9. キャリアトランジション、リススキング
10. 社会で求められる人材とは、自己分析
11. 企業分析（グループワーク）
12. 就職活動の実際
13. 自身のスポーツキャリアを考える（スライド作成）
14. 自身のスポーツキャリアを考える（スライド作成）
15. 自身のスポーツキャリアを考える（発表）、まとめ

#### 授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

#### 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

情報収集：60分（スポーツに関する書籍や新聞記事、ニュース等をチェックすること。スポーツに関する企業や自治体、スポーツ団体の取組や組織の情報を調べること。）  
 予習：90分（シラバスを確認し、インターネットや書籍等で学習を行う。）  
 復習：90分（授業資料に再度目を通し、学んだことの復習を行う。）

#### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

人間健康学科で学んだことやこれから学ぶこと（健康分野に関する基礎知識）を、どのように実際の社会や仕事で生かすのが到達目標であり、社会で活躍するための能力（コミュニケーション能力やリーダーシップ、マネジメント力など）について学ぶことがこの科目であるといえる。

#### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

自身の考えを整理し、アウトプットすることを促進するため、授業中の質問や解答を加点の対象とする。また、レスポンスを活用し、学生の質問や疑問に対する回答を行う。

#### 実務経験の有無及び活用

実務経験あり  
 スポーツ団体において13年間従事しており、スポーツマネジメント人材の育成や指導者養成に関わってきた実績を有する。その経験を活かし、大学での学びやスポーツの経験等が、社会においてどのように役に立つのかを実例を交えて解説する。

#### 備考